



出店が予定されている旧第一勧業銀行ひばりが丘グラウンド跡地(東久留米市南沢5丁目)

# 大型商業施設着工未定

10/12

当初、今年4月オープン予定

大手スーパー「イオン」(本社・千葉市)が、東久留米市南沢5の旧第一勧業銀行ひばりが丘グラウンド跡地で進めてる大型商業施設の建設が、税収増の「切り札」として誘致を進めただが、地元住民らは「渋滞が引き起こされると」「商店街が壊滅する」として反対。今年4月だったオープン予定は大幅に遅れ、いまだに着工のめどが立っていない。(工藤淳)

同跡地は広さ約5万5700平方㍍。大型商業施設は地上4階、延べ床面積9万5000平方㍍の計画で、約2000台の駐車場を完備する。延べ床面積は市内の全小売店舗面積に匹敵する。それ、周辺道路には一日平均7600台が通行する見通しだ。

出店計画は、いよいよ産業拠点に位置付けた都市計画

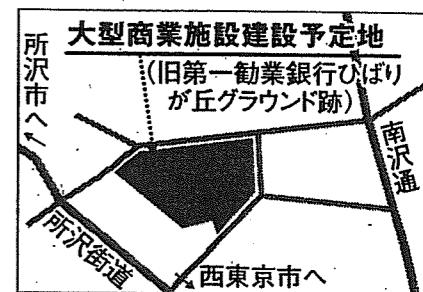
業施設は建設できないが、市は地区計画を活用して計画を進める方針だ。

一方で、周辺道路が狭いことや、近くに小学校、老人施設があり、周辺住民は環境悪化を懸念。市民団体「旧第一勧銀グラウンド跡地利用と環境を考える会」(塙田俊朗代表)は「大渋滞による排ガスなど、環境への影響も大きい。住居専用の

## 焦点

### 東久留米市、税収増の切り札

### 大型商業施設建設予定地 (旧第一勧業銀行ひばりが丘グラウンド跡)



### 東久留米市、税収増の切り札

#### 地元反対

マスター・プランに沿い、この地域に大型店を出すの昨年に浮上した。市は大型商業施設の誘致に伴い、年間約3億円の税収増を見込む。市は2003年に「財政危機宣言」を発表、06年に解除したが、現在も厳しい財政運営を強いられている。同跡地は第一種中高層住居専用地域で、本来は商

店を出す予定だったが、今年4月のオープン予定は大幅に遅れ、現在も着工されていない。市計画課は「事業者の環境影響評価書の準備が終わっていない。反対も強く、計画を拙速に進めるつもりはない」とし、イオン側は「行政手続きを進めている段階。着工、オープンの時期は決まっていない」とある。

遅れの背景には、所沢街道から予定地への誘導路建設に地権者が反対している。野崎市長は9月市議会で、「出店の影響はあるが、地元商店は地域に根を張ってい

つした動脈の影響もあつてか、今年4月のオープン予定は大幅に遅れ、現在も着工されていない。市計画課は「事業者の環境影響評価書の準備が終わっていない。反対も強く、計画を拙速に進めるつもりはない」とし、イオン側は「行政手続きを進めている段階。着工、オープンの時期は決まっていない」とある。

その点については、「協議の状況を開けるた中」としている。野崎市長は9月市議会で、「出店の影響はあるが、地元商店は地域に根を張ってい

て活動しており、独自の強みを発揮できる」と主張。しかし商店主らが依頼した中企診断士の調査は「出店で近隣商店の売り上げ85%減」と結論づけた。

市商工会幹部は「このままで商店街がシャッターチョー通りとなる」とし、「一方的に計画を進める市長に、商店主の視点が欠けている」と不信感を募らせる。同課も「話し合は平行線」と、反対派との合意を見いだせない状況を認めていた。

野崎市長は、市は市民に対し、大型商業施設出店を含めた街づくりの展望を明確に示すことの大切さを強調。元商店は地域に根を張ってい